

小池市長は中電(株)への焼却委託撤回を「市民の会」が公開質問状



公開質問状を渡す、左から劉さん、課長、磯貝市議。(山口撮影) 7/16

協定」という名の談合明白

日本共産党は、2024年度の中部電力(株)の産業廃棄物焼却所建設と、ここへの一般ごみ焼却委託問題で情報公開を求め、7月8日に入手しました。

議会一般質問では、6月2日の協定期日までに「なにもきまっていない」と言いながら、2月16日、3月26日、6月7日に、碧南市、高浜市、衣浦衛生組合と中部電力(株)が話し合っています。5月15日には小池市長に、ごみ焼却施設について協議がされています。

公設にするのかさえ決まっていないうちで、中電と1社で話し合うのは「協定」という名の談合そのものです。小池市長は、市民不在の「協定」そのものを白紙撤回し公設公営のごみ焼却場を加え、市民とともに仕切り直しをすることが必要です。

気候危機打開に行政は責任を

災害級の猛暑、豪雨被害、土砂崩れ

2024年7月16日
碧南市長 小池友妃子 様
碧南・高浜のごみ焼却施設を考える市民の会
共同代表 大村 美恵 劉 霊均

ごみ焼却場についての公開質問状

2023年6月2日、前禰宜田市長と中部電力(株)の間で取り交わされた「資源循環事業等の検討に関する連携協定」の締結から1年間の経過、協定は自動更新されました。

碧南・高浜のごみ焼却施設を考える市民の会は、この間、ごみ問題についての学習や今後の焼却場はどうあるべきか論議を重ねてきました。気候危機打開にも直結するごみ問題は、行政が責任をもって市民とともに減量、リサイクルに取り組むことが最も重要です。

8月7日には、衣浦衛生組合の全員協議会でこの問題の検討もされます。さる5月27日に私たちは、小池市長と懇談をさせていただきました。これも踏まえて以下の点についての公開質問状を提出させていただきます。

- 誠意あるご回答を7月31日までに文書でご回答をお願いします。
1. 小池市長は「みんなの意見を聞く」(5月27日の懇談会)とありますが、いつ、誰からどのように聞くのですか。また、市民の意見は具体的にどのように聞くのか教えてください。
 2. 今後のごみ処理施設の方針について、住民への説明会はどのタイミングで実施する予定ですか。
 3. 中電が建設するごみ処理施設の建設予定地について、市が予定地を探すことは、協定書のどこに記載されていますか。
 4. 7月9日に入手した情報公開によれば、2月16日、3月26日、6月7日に中部電力(株)と碧南市、高浜市、衣浦衛生組合が話し合いをしています。ごみ処理の委託を他の会社を排除し中部電力(株)のみと決めることは、官製談合にあたると思われませんが、市があたらないとする根拠はどこにありますか。ご説明ください。
 5. 民間のごみ焼却施設の建設のための用地を市の職員が探し、関係機関と協議をすることは、地方公務員法が定める職務専念義務に違反すると思われませんが、市の考えをお聞かせください。

組合管理者として公設焼却場を

8月7日には衣浦衛生組合の全員協議会で、

気候危機打開を本気で進め、2050年にCO2ゼロを目指すのであれば、ごみゼロに向けて行政と市民が力を合わせねばなりません。企業はお金儲けが最優先、焼却委託料で利益を得ることと、ごみゼロは矛盾します。

など気候危機、地球が沸騰している影響が起きている。世界最大級の410万kWの石炭火力発電所から毎日、その原因物質、二酸化炭素が排出されています。7月1日からアンモニア混焼が本格稼働し20%削減がされるとの触れ込みです。しかし、全国で年間50万t使用しているアンモニアの半分を1機で使うという大量のアンモニアの生成時、運搬にもCO2が排出され見せかけの環境対策「グリーンウォッシュ」といわれています。

西端 高齢者学級 小池市長懇談会にて

7月17日西端地区の高齢者学級で小池市長との懇談会があり参加させていただきました。

農業者コミュニティセンターの体育館に空調設備を1の要望に市長はとふるさと寄附金は20億円。財政調整基金は47億円で法人税制限税率で年10億円増。体育館空調は1基約2億円。計画なしは碧南高浜のみ。市長がここを変えられるかどうかです。

ごみ焼却場を、よりコンパクトにする調査委託の結果が論議されます。7月31日には組合議員にその資料配布があります。

国の補助金をもらい2050年までの26年間対応のコンパクト焼却場計画を明確にし、組合職員を守り、エコの先進地として、地球を守る環境行政にすることが、若者の未来を守ることです。市長は、公開質問状に誠実に答えていただきたいです。

日本共産党創立102年 科学の目で未来に確信持つて

戦争反対貫いた党

日本共産党は7月15日、創立102年を迎えます。党史をふり返ったとき、科学の目で未来を見通す党ならではの姿を歴史に刻んだ特筆すべき時期があります。

一つは、1945年の日本の敗戦時です。戦前、反戦を貫いた日本共産党員は過酷な弾圧を受けました。日本軍国主義が敗北し、日本中が茫然（ぼうぜん）自失状態だったとき、天皇制権力と闘ってきた日本共産党員は、終戦を大きな喜びを持って迎えました。

困難に屈せず国民の幸福のため

治安維持法などで訴えられ獄中12年を非転向で闘い抜いた日本共産党の指導者・宮本顕治氏は戦中の裁判で、私は我々同志が日本人民の幸福のため、あらゆる困難に逢着（ほうちゃく）しつつも健闘して来たことが認めらるる時代の来ることを確信して疑わない。社会進歩と人類的正義に立脚



田村智子委員長の102周年記念講演
日本共産党ホームページからご覧ください。

する歴史の法廷は、我々がかくのごく迫害され、加罰される事は大きな過誤であったという事を立証するであろうと信ずる」とのべました。歴史の法廷で、それは実際に立証されました。

ソ連共産党の干渉との闘い

二つめは、1991年のソ連共産党解体のときです。世界の党の多くが混乱に陥るなか、日本共産党は、世界の平和と社会進歩にとって巨大なプラスと歓迎しました。ソ連共産党の覇権主義的干渉と闘ってきた経験と、そのなかでつくりあげた自主独立の綱領路線があったからです。

かじ取りできぬ自民党政治

いま自民党政治は、腐敗から抜け出せず、国民の暮らしや人権を求める声に背を向け、戦争する国へと暴走しています。停滞する日本経済の打開策を持たず、いよいよ日本のかじ取りができなくなっています。

新党一乱只受け皿づくりの行き詰まり

自民党政治が国民の支持を失うなか、この数十年、新党が出ては消えを繰り返しました。いまの支配体制を維持したい勢力は、第三極などといった受け皿を用意し、それが支持を失えば、またその次と目先を変えて自民党政治を維持してきました。その結果の行き詰まりです。

資本主義への疑問の目

気候危機や格差をもたらす資本主義のシステムにも疑問の目が向けられるなかで、多くの人が政治を変える方向を模索しています。いま、自民党政治を変える歴史的チャンスです。

アメリカ・財界優先のゆがみを正す

日本共産党は「アメリカ言いなり」「財界最優先」という二つのゆがみを変えること、そのための市民と野党の共闘、統一戦線こそ日本の政治を変える道だと党の綱領で示しています。

政治のゆがみの根本にメス

自民党への批判を一時的に受けとめる党派が現れても、日本の政治のゆがみの根本に切り込み、共闘で政治を変える展望を持たない党では真に日本の政治を変えられないのは、この間の歴史が示しています。

市民と野党の共闘で政治を変える

日本共産党は選挙でどんな結果が出ても、そこから次の躍進を準備し市民と野党の共闘を追求してきました。

資本主義を乗り越えた未来社会の展望

資本主義を乗り越えた先の、すべての人に自由な時間が保障される未来社会の展望を示しています。100年前の党は、いまの党の姿を想像できませんでした。未来は変えられます。最初は少数でも、科学的に正しいことはいずれ多数の認識になることに確信をもち、科学的羅針盤（ろしんぱん）を持つ党として、新しい仲間を迎え、闘いを引き継ぐようではありませんか。

大軍拡・増税許すな

へきなん 19 行動

8月19日（月曜日）午前11時～12時

ピアゴ碧南東店

碧南市東浦町6-17（日進小学校南）

<http://hekinan.jcpweb.net/>
日本共産党碧南市議員団のホームページをご覧ください。



日本共産党碧南市議団



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253